

約束

生きていると、約束することがたくさんあります
あなたはどんな約束をしましたか？

EVENT

スポーツ大会

真冬の体育館は熱気ムンムン！
棒を使ったボール運びで大盛り上がり P4



LIFESTYLE

"僕の見た座り込みはTVの中"

水上建（3年A組）
2020校内弁論大会最優秀賞作品 P7

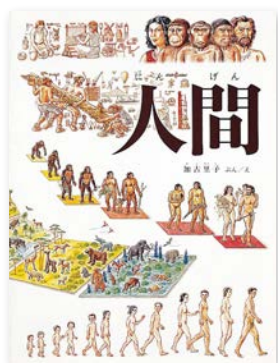


BOOK

約束

あなたは約束したことがありますか？
誰でも約束できるわけではなく、「自立した意志」と「約束を守ろうとする決意」があって初めて、その約束に力が生まれます。とても不思議な力です。約束は、誰かとの間に交わしたり、自分の中だけで決意する時もあります。ときには、無意識に、自分が自分にして、自分でも気がついていな

い約束も。ともかく、約束すると、その時からあなたの中に約束の力が動き出すのです。それは、あなたを強くし励ますこともあるし、あなたを苦しめる時もあります。大切なことは、約束の力を使って、あなたが何を成し遂げようとしているのかということ。約束には、人を殺すほどの力があります。もしも、あなた自身が、約束の力によって、命の危険を感じたのなら、その約束を果たしたときに「あなたの手元に何が残るのか？」を考えてみてください。約束は、あなたにとって大切なものを手に入れるための手段です。



人間
加古里子 ぶん・え
福音館書店 / ¥1,650

LETTER



魔女との約束

春が近づくと、どこか落ち着かない気持ちになります。変化が大きい時期だからかな。この物語の舞台ナルニア国には白い魔女がいて、もうずっと春が来ません。全てを凍らせて動かないように抑え込んでいるみたい。ずっと冬です。ぼくは、冬がとても好きだけど、春が来ない冬は嫌かもなあ。登場人物のひとりに、兄弟を裏切って白い魔女に身を売るエドモンドという少年がでています。「あー、その人についていくのはやめたほうがいいのになあ」と思っちゃうほど、見事に吸い寄せられていく。まだ自分のことがよくわかっていないときには、自分がないものを持っている人に憧れたり、誰かを裏切ってでも手に入れようとしたりしてしまいがち。その時は気がつかなくても、裏切りの代償は、自分が差し出したものよりもとても大きなものだったりするのです。ときには、自分の力だけでは拭いきれないほどにね。そんなエドモンドにも春はやってきたのでした。続きは、本を手にとってみてね。



ライオンと魔女
ナルニア国ものがたり1
C・S ルイス
岩波少年文庫 / ¥748

BOOK

ふたつの約束

みーちゃん(5歳)は、お母さんに頼まれて、初めてひとりでお買い物に行くことになりました。お母さんとした約束は2つ。「くる

まにきをつけることと、おつりをわすれないこと」。なにもかも初めてのことばかりだから、みーちゃんは頭がいっぱい。やることなすこと緊張しっぱなしです。初めてのことでいくつになってもそういうもの。おじさんのぼくも初めてってドキドキしますもん。さて、みーちゃんがしたふたつの約束はどうなったのでしょうか？



はじめてのおつかい
筒井頼子 さく / 林明子 え
福音館書店 / ¥990



BOOK

新しい出会いと別れ

誰かと一緒に過ごす時間にはいつか終わりがきます。お兄さんにいつも付きまっていたティモシーが、あることをきっかけに成長して大人になっていく物語。嫌

気がさすほど一緒にいたとしても、一緒にいる時間がなくなると、妙な寂しさを感じるものです。いま、その人と一緒にいられることを大切にするとてなかなか難しいこと。「ずっと一緒にいよう」なんて野暮な約束よりも、いま出会えていることをどれだけ喜び、楽しめるかってことなのかもしれません。



おとなになる日
シャーロット・ゾロトウ文
ルース・ロンピンス絵
みらいなな訳 / 童話屋 / ¥1,550



約束の意味

文・写真 國兼淳

最近（とはいえ、1年以上前だけど……）、長く生活とともにしてきた11歳年上のパートナーと別れた。「未届」の事実婚関係だったので記録には残らないが、実質、私はバツイチになる。北星余市を卒業し、大学生になってすぐに出会い、しばらくは師弟のような関係から、恋人同士になった。18歳で出会い、21歳～28歳の8年間ともにいた。もう10年以上の関係になる。北星余市を出たあと、生きるのが辛かった。その日々を知り、私を引っ張り上げ、叱咤激励をし、そばに居て幸せを願いつけてくれた。出会わなければ、私は生きていなかっただろう。その人が私の20代「そのもの」である。

2人の生活は話し合いの日々だった。「家を出たら最低一通はメッセージを送ってくる」という関係を維持するための取り決めから「家の消耗品のストックを把握しておく」という生活のあれこれまで多くのことを2人で決め、たくさんの約束をした。何よりもお互いに大切にしていたことは「最後まで話し合いをやめないこと」である。ケンカをしても次の日に引きずらないためにその日のうちに解決する。関係をなるべく長く続けていくために、そう約束していた。それでも人との関係には終わりが来る。たくさん話し合い、多くを取り決め、数多の気遣いをお互いにしていても、すれ違



いや納得し合えないことが増え、別々に暮らすことになった。「別れ」を切り出したのは私からだった。約束とは持続させ続けてこそ意味がある。20代も終盤に差し掛かった時、パートナーとして一番大切な「約束」は永遠に続くことなく終わりを迎えたのだった。

私は現在、新しい場所で生活をはじめている。大変だけれど悪くない毎日だ。この10年間は「幸せになってほしい」と心から願われ続けた時間だった。その日々を離れて1年、新

生活のなかで心に決めたことを記しておこうと思う。これからの10年間「幸福であり続けられるよう努力する」とここに約束しよう。



國兼淳 | Jun Kunikane

42期卒。京都精華大学でジェンダーを学び、児童自立支援施設で働く。現在は京都の若者育成の現場でへらへらと援助屋をやりながら、対話についてむにゃむにゃ考えるひと。思春期保健相談士。省エネ系ユースワーカー。



R君との約束を破ってしまった。

文 島峻佑

「遊ぶ約束」という言葉の響きは懐かしさを感じる。小学生の頃の記憶が蘇る。基本的に僕の過去は黒い(暗いではなく黒い、ここ重要)ことしかないので、すぐ闇に葬り去るのだが、今回は珍しく昔話でしようと思う。

小学生の頃の話。僕は遊ぶ約束をしていた。約束をした一人はR君。R君は僕と非常に仲良くしてくれたのだが、少し荒々しく、セコい性格をしていた。鬼ごっこで「明らかにタッチしてるだろ！」ってときにもズルして逃げ続けるし、当時先生からキツく注意されていて僕が恐れていた行為である「買い食い」を平気でしていたし、火でそこら辺の草とか燃やしていた。嫌いではなかったが……怖かった。

実はそのとき、R君と遊ぶ約束をしたあとすぐにH君にも誘われていた。H君(とその周り)はとにかくガキンチョといった感じだったが、それに負けないほど

のガキンチョであった僕は、H君達というほうが居心地が良かった。先に約束したのはR君だったが、「義理人情なんて知らんがなボーイ」だった僕は、居心地の良いH君達と遊ぶことを選んだ。僕はR君との約束を破ってしまった。

しかし、小学生が遊ぶ所なんて限られているわけで、僕はR君にあっさり見つかった。R君は「もういいわ」と言ってどこかへ行ってしまったのだが、次の日、昨日のことを忘れたかのように(本当に忘れていた?)、いつもと変わらず接してくれた。僕はだんだん申し訳なくなつて、ただ泣きながら謝った。

そんな出来事から約10年、僕はまた一つ約束を破りかけている。「約束」というテーマの作文を800字、自分のプロフィールを100字書くのをゴールデンウィーク明けまでに提出するという約束だ。現在は5月7日(木)。ゴールデンウィークはもう明けてしまった。今回の約束は破ったらタダじゃ済まされなさそうなので今必死にやっている。というか終わった！また泣きながら謝ることにならなさそうで良かった。



島峻佑 | Ryosuke Shima

スーパー痩せ型体質男。この休み期間で2kg痩せてしまった。太るために食べるなんてバカバカしいと思い始めて体重を気にした食事をやめた。もう何も怖くない。いや、ガリガリと言われるのはやっぱり怖い。



約束を思い返すと、失敗の記憶ばかり

文 吉井萌々子

生きていくうえで約束という行為は必要不可欠だと、私は気づいた。私は人生において大きな約束をしたことがない。この高校に来たいと言ったときも「行ってもいいけど、卒業したら就職するんだよ」「うん、わかったよ」みたいなやりとりはなく、親にかかる負担の割に、すんなり許可をもらってしまった。それから、卒業後の自分の身の振り方を考えないまま今に至る。

約束を重荷に感じることもあるだろう。守らなければ信頼を失ってしまったり、わからないけれどきつと商談がなくなったりしてしまうんだろう。万が一約束を守れなかったときのことを考えると、私は約束なんてしたくない。こんな具合だから今まで大きな約束をしないで来られたのはとてもラッキーだったように思える。

今まで生きてきて、約束をしたことがない奴のような書き方をしたが、実際はそんなことはない。雇用や婚姻といった法的な約束とはあまり縁がないが、学校に通う以上、人間関係は生活と切っても切れないものだ。遊びに行く約束、またその待ち合わせ、物の貸し借り……約束することが億劫な私でも、約束する機会はごまんとある。そしてその分、約束を守れないことも増える。そんな無数の約束を思い返すと、失敗の記憶ばかりだ。約束を破ってしまった時の感情のバリエーションならなかなか負けない自信がある。待ち合わせに寝坊して遅刻したり、約束の存在自体を忘れていたりといひどいものだが、反省はするのだ。忘れるたびに「次は絶対に忘れない」と頭の中で反芻する。

なんだか約束について考える度に、どんどん約束というものを嫌いになっている気がする。しかし「約束したくない」が究極までいってしまうとたぶん働けなくなるので、失敗を恐れ過ぎてはいけない。約束せずには生きていけないと気づいてしまったからには、諦めてこれからも約束をし続けるしかないのだろう。



吉井萌々子 | Momoko Yoshii

千葉県出身の現在高校3年生。ネットサーフィンが趣味。年齢を重ねる度に虫が苦手になってきていて悲しい。周りから見えてきちんとした大人にはなれそうにないので、自己満足を重ねて充実感を得る生活に憧れている。

約束の本と音楽と映画



ダンサー・イン・ザ・ダーク
ラース・フォン・トリアー（監督）

ただひたすらに悲劇、悲劇、悲劇でしかない。けども一貫してセルマの中にある息子への秘密の約束の強さ。それがあから救われるってわけでもないし、美しいとも思わへんけども（ところでビルの名前が「ビル」なのは唯一のユーモアなのか？）。（本間涼子）



プロミスザスター
BiSH

普段は韓国の曲しか聴かない自分がハマった日本のグループ。たまたまテレビで見て好きになりました。歌声や歌詞、ダンス、すべてに迫力があり頭から離れません。中でもこの曲は特に印象に残った曲。歌声だけでなく、ダンスも癖になるので動画で見てください。（成田健太郎）



聖書

旧・新約聖書を貫くテーマは、神を神として信頼する者に救いを与えるという約束。キリスト教の歴史を見ると多くの人がこのことによって信じられないほどのエネルギーを得て、素晴らしい人生を生き抜いた。あなたをいかすものがこの本の中に。（塩見耕一）



約束
斎藤耕一（監督）

仮出所した女囚と、刑事に追われる強盗犯が列車の中で偶然隣り合わせ、恋に落ちる。極限状態にある男女の明日なき恋の行方を描くラブロマンス。1972年キネマ旬報ベストテンで第5位を獲得（Youtubeで視聴可能）。（妹尾克利）



イタリア古典歌曲集
スミ・ジョー

巨匠カラヤンから「神からの贈り物」と評されたコロラトゥーラ・ソプラノ歌手スミ・ジョーが歌うこのCDがおすすめ。中でも彼女が歌う、ロッシーニ作曲「音楽の夜会」という12曲からなる歌曲集の1曲目「La promessa 約束」は心に染みる愛の歌で最高です。（紺野良子）



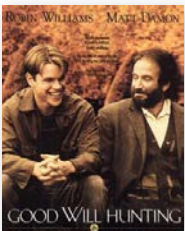
銀魂
一国傾城編 単行本 44巻～45巻
空知英秋

約束を体現している物語。約束したら守るものだし、約束によって人と人はつながる。皆が一つの約束を守るために国を相手に奮闘。ギャグあり、シリアスあり、そして感動あり。今まで読んできた漫画でトップ5に入ります。面白いから『銀魂』見てみて。（福田綱基）



キリングフィールド
ローランド・ジョフィ（監督）

1970年代のカンボジアでは医者・教師・技術者など知識層を大量殺戮。ジャーナリスト、シドニー・シャンバーグはその状況を現地のディス・プランを通訳に取材するが、帰国を余儀なくされる。シャンバーグはプランを探し出すことを自らに課すのだった。（安河内敏）



グッド・ウィル・ハンティング/旅立ち
ガス・ヴァン・サント（監督）

いつまでも地元の友達と馬鹿騒ぎするだけで、自分の能力を発揮する場所に行こうとしない主人公に、友人が「20年後にここで同じことをお前がしてたら許さない」というシーンが忘れられない。友人を奮い立たせるために、別れを約束させる友情もあるんだなって。（伊藤葉子）



Promise
A.N.JELL

韓国ドラマ「美男ですね」の曲。不器用な男の一途な愛が歌われています。恥ずかしいくらい真っすぐな歌詞。当時は韓流ブームの第2波で、チャン・グンソクの時代。同級生の女子は好きな人が結構いて、普段話さない女子とも話せた記憶が。僕の青春を彩った一曲。（小杉遼河）



絶唱
湊かなえ

心に傷を負った4人がたどり着いた場所は、太平洋に浮かぶ島。「約束」を含む4つの物語。命の恩人との約束を守るか自分に正直になるか。親友との約束を守るか恋人への愛情をとるか。「約束」に縛られ、自分の気持ちを出せない主人公をもどかしく感じました。（2A 田村咲良）



赤い糸
コブクロ

私の祖母は大のコブクロ好き。私も小さい頃によく聞いてました。歌詞の中の僕が、彼女の気持ちに整理がつくまで約束通り待ってたというのが、凄く好きで、カラオケでよく歌ってます（笑）。（2B 眞鍋彩桜衣）



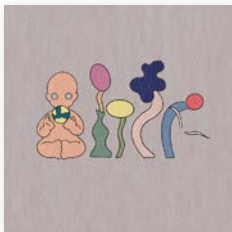
またいつかここで
B'z

僕がおすすめする曲はB'z「またいつかここで」。この曲は共に学生時代を歩んできた友とまた会おうという約束の曲。この学校も地元、親元を離れ生活している人がいっぱいいると思います。出会いと別れ、そしてそれを懐かしむ歌です。是非聴いてください！（1A 矢島輝幸）



ひまわりの約束
秦基博

「大切な人」と言われたら誰を思い浮かべますか？ 友達の人でもいい恋人、家族など様々な人がいると思います。この曲は「大切な人」がいることの幸せ、今ある幸せの大事さを教えてくれます。卒業が迫ってきて様々な別れが近づいているいま、ぜひ聴いてほしい。（3B 内田柊）



rendez-vous
yonawo

rendez-vousはフランス語で「会う約束」という意味。歌詞には沢山でてきて、自分の中で翻訳することで意味を深く感じられる。歌詞は韻を踏んでいて言葉は優しく、ゆったりした曲調は安心感。色々な解釈ができると思うから、人によって感じ方が違うのも魅力。（日塔絢捺）



愛唄
—約束のナクヒト—
川村泰祐（監督）

GReeeeNの名曲『愛唄』誕生までを描いた、実話をもとにしたストーリーです。命のタイムリミットを知らされた時、残された時間をあなたはどのように過ごしますか？ 涙するほど全力で恋に生きる姿、最初で最期の恋の切ない結末にあなたもきっとナクヒトに。（3A 佐々木胡桃）





EVENT

寒いけど、体育館は
熱気ムンムン！

戸井孝紀（2年A組）

ここ北星余市高校では毎年、夏と冬にスポーツ大会を開催。バレーボールやバドミントンの他、全体種目としてクラス対抗競技があります。今回は新しく3対3のバスケットボールを競技として追加しました。元々バスケ部があり、前々から「スポ大でバスケがやりたいっ！」って声が多かったのもあり、競技に組み込みました。試合は予選から熱戦が繰り上げられ、決勝も大盛り上がりでした！

そして全校生で盛り上げる全体種目。競技内容は毎年生徒会が考えて準備します。今年はボール運びリレーという、2本の棒でボールを運びタイムを競う競技です。「もっと面白くしたい！」と考えた生徒会が、競技に使う棒をめちゃくちゃな棒にしました。駐車禁止の置物、灯油を入れるポンプ、塩ビパイプなどなどネタに振り切った棒を用意し、それを担任に選んでもらい競技がスタート。

ここで予想外の事が起きます。棒を分解したり、ポンプで棒をまとめたり、ルールでは棒の両端を持つのに電車ごっこの様に両脇で挟んでスタートしようとするクラスがあったりなど、僕らの予想斜め上の盛り上がりを見せました！どのクラスも一丸となって、「こうしたらボール落ちないんじゃない？」とか作戦会議しながら頑張っていました。新しい事、今までと違う事が多かった今年のスポ大、しかし盛り上がりは今まで通り熱いものでした。





文・写真 辻田美穂子

11年前、初めて祖母の生まれ故郷のサハリン（樺太）に渡った。戦後は国境が閉鎖されていたけれど、平成に入り渡航が解禁されてからも、祖母はその土地に60年以上も戻っていない。自分の生まれた街にもう二度と行けないなんて、平和な日本に生まれた私には考えられなかった。

行き方を調べ始めるとすぐに行き詰まった。当時はガイドブックにもインターネットにもほとんど情報がなく、旅行会社に問い合わせると1週間の見積もり旅費はなんと50万円。それでも諦めずにいると、ある日祖母から、菅野さんという祖母より1つ年上の男性が、サハリン行きのツアーを個人で企画していると聞いた。菅野さんも祖母と同じ樺太生まれで、「もう一度だけ戻りたい」と戦後からずっと募らせていた帰郷の念を叶えて以来その喜びが忘れられず、以後「同じような想いをもっている人がいるだろうから」とツアーを企画し続けていた。

2010年8月、私はサハリンに行くことができた。ツアーだったので、自由に歩いて思う存分写真を撮れなかったことが悔しかったし、戦後もサハリンに住み続けた日本人の方たちのことや、様々な先住民が暮らした土地の歴史など、知らないことが多すぎて1週間ではとても足りなかった。サハリンを出航する時、遠くなっていく島に「ダスヴィダーニャ（さようなら）」と手を振るツアーの参加者たちと菅野さん。必ずまた来ようと強く想

いながら「サハリンの写真集作りたいな」とつぶやくと、菅野さんは笑いながら「やめとけ！」と言った。てっきり応援してくれると思ったのに、「なぜ？」と聞き返すと「何年かかるかわからないし、大変すぎて嫁にいけなくなる！」と言われた。「別にいいです」と言ったら、菅野さんはただ笑って、否定も肯定もしなかった。

あれから10年。1年に1回の渡航のために貯金をし、長期休みはサハリンに行くか、暗室で写真をプリントしていた。いつでも頭の片隅にサハリンのことはあるので、飽きずに文章を考えたり、ネガや日記を見返して構成を考えたりしている。菅野さんは2013年に亡くなった。あんなに入手困難だったサハリンの情報は、今はSNSでチェックできるし、現地にできた知り合いからはテレビ電話がかかってくる。私は菅野さんが予言した通り10年間結婚できなかったけれど、ご縁もできて子供がうまれた。今はコロナで入国できないし、取り巻く環境は随分変わったけれど、したのかしていないのかよくわからない約束は、まだ継続中だ。



辻田美穂子 | Mihoko Tsujita

大阪出身の写真家。祖母の出身地である「樺太（サハリン）」の写真を撮るため2013年に北海道に移住。2018年より北星余市の写真を撮りに来ていたことがきっかけで、人生が一変！今年から余市在住。

ほりさんに きいてみよう



Q 守れなかった約束はありますか？

あります！人生最大の約束破りが2回も。もう今となっては改めて果たせる約束ではないので、どうしようもないのですが、22年前と17年前に妻と約束したのです。「出産に立ち会うから！」と何度も妻に約束をしました。自分がその場にいて早く子どもに出会いたいという気持ちと、いろいろ聞く「命がけの出産」をする妻のそばにいてあげたいという気持ちからの言葉でした。

22年前の長女の時は、確か夜の9時過ぎに病院に向かいました。小樽の病院に着くと、看護師さんから「おそらく今夜生まれることにはならないと思うので、明日電話してみてください」と伝えられました。その言葉を聞き「しばらく時間がかかる、明日の仕事が終わってからでもいいか」と考えたのでしょう。翌日、朝から会議があったので、そのまま出勤。昼にでも電話すればいいかと悠長に構えていたところ、お昼前に妻から電話が来て「産まれたよ」と伝えられました。「えっ？」と絶句。会議を途中で抜けさせてもらい、急いで病院に行きましたが、嬉しさと申し訳なさが混在した複雑な気持ちでした。妻には「朝電話すればよかったはずなのに」と、詰めの甘さを指摘されました。

それから5年後、長男の時にも「今回は絶対立ち会うから！」とリベンジのチャンス。夕方長女と一緒に病院に妻を送り届けたところ「今日の出産にはならないと思うので、一旦帰宅されても大丈夫ですよ」と、デジャヴかと思いましたが、家に戻ってしっかりと寝てしまいました。翌朝、妻からの「産まれたよ」の電話……「デジャヴか！」ですよ、もう。

まあ、本当に詰めの甘い夫であり父です。いまでも「もう一手きちんと打っていれば……」と後悔することもあります。子どもの誕生日ごとにそんなことを思い出す始末。守れなかった約束については、今でも時々からかわれます。仕事でもプライベートでもなかなか「一手」が足りないなあ、と感じてます。



文 武田緑

日々生きていく中で、私たちはいろんな人といろんな約束をする。会う約束、なにかと一緒にやろうねという約束、いつまでにこれを終わらせますねという締め切りについての約束、このルールを守りましょうねという約束、などなど……。約束したことに厳格な

人もいれば、ゆるい人もいる。私自身は、たぶんだいぶゆるいほうだ。なるべく周りの人たちに大きな負担をかけることは避けたいとは思ってはいるが、大目に見てもらいながら甘えて生きている（ありがたや）。「弱さ」や「できなさ」を許容し、フォローし合いながら、

助けてもらっている分、「自分にできること」で相手に貢献し、支える。そんなコミュニティを築けたらと思う。ちなみにこのゆるさが許容される範囲は、所属している組織や、コミュニティや、社会の文化によって結構違う。ある学校や、ある会社や、あるコミュニティ

では、厳しく糾弾されることが、違う場では「まあ」と許されたりもするのが不思議だ。海外にいくと、こういうことはしばしばカルチャーショックとして経験される。日本の基準では相当ゆるい私も、例えば中南米なんかに行くと、「いや、約束守れよ！」とイラッとしたりするので、おもしろい(笑)。

そんな私だが、特に大切にしている約束もあるなと思い至った。約束を表す英語はいくつかあるが、その中で言えば「Commitment」。「これをやる」「このことに責任を負う」という自分自身との約束だ。“責任”などと言われると、反射的に「嫌だな」「しんどいな」と感じる人も多いかもしれないけれど、ポイントは自分の意思でそこにに関わり、関わった結果を引き受けると決めること。私の場合で言えば、「日本の学校をもっと民主的な場にする」とや、「個人が尊重される社会をつくること」や、そのための1つひとつの活動にはコミットしている。

何かにコミットするというのは、「このことは、自分の手の中にあるんだ」という感覚を持つということではないかと思う。私の人生は私がつくっている、私たちはこのことを変えられる、そういう希望と裏表だ。そう、だから、何かにコミットして生きることは、たぶん楽しいことなんだ、私はそう思う。



武田緑 | Midori Takeda

教育ファシリテーター。Demo代表。多様な教育を学ぶスタディツアー・EDUTRIPや、教育の博覧会・エデュコレなどを主催。教育関係者向けの研修や執筆も行う。人権・同和教育、シティズンシップ教育、“多様な学び”などが活動テーマ。

LIFESTYLE

僕を見た座り込みはTVの中

2020 校内弁論大会 最優秀賞
水上建（3年A組）

3年A組には「イベントの準備は絶対にみんなでやる」という本間ルールがある。強歩遠足前、やる気のない一人が作業に参加せずに帰った。期待もせず、声をかけなかった。締め切り直前になり、本間ちゃんの「下宿行って呼んできー」。嫌われるかもしれないことを、なぜ私が……。下宿に行くと、恐ろしい形相で「マジでめんどくさい、本間涼子のクラス」。4時に学校に来るという約束を取り付け、私は逃げ帰った。そして彼は約束より早く来て、無邪気に「こういうところ気になるんだよね」と、塗りが甘いところを楽しそうに塗り始めた。しかし学祭準備中の合唱練習もサボられた。「逆に何でそんなにモチベあるの?」と聞かれ、それに答えるために電話をすると、彼は学校に戻ってきて、私の気持ちに向き合ってくれた。そして、外が真っ暗になった会議室で合唱練習をした。すごく楽しかった。

もっと早く、「やらん奴」「怖い」とかいう思い込み抜きに彼と向き合っていれば、彼から逃げている後ろめたさを覚えずに、自分も楽しくできたのに、と思った。そしてな

により、身近にこんなに面白く、クラスを楽しくできる奴らがいるという事を、もっと早く知っておきたかった。今まで偏見を持っていることでも、知る事で、自分の世界が広がったり、楽しみや喜びが増えたり、深まったりする。そして一方、「知ること」で、さらに違和感や疑問を感じることもある。私がこの春にしてきた経験はまさにそれだ。

日本の米軍基地の7割がある沖縄に、行ってきた。辺野古の基地建設を、座り込みで止めようとしている現場。私は基地向かいの歩道から、埋め立て反対のプラカードを持って眺めていた。抗議者たちは「違法工事今すぐやめろ」「子どもの未来に基地はいらない」と訴え、しばらくすると機動隊が現れて、抗議者を二人がかりで一人ずつ、運んでいった。全員が運ばれて、結局トラックは基地の中に入っていった。それが1日に3回。国家権力が国民を排除していくこの風景は、本来、怖く、異様な光景である。しかしどこか形式的に見えてしまった。機動隊によるもっと過激でひどいシーンをTVで見たことがあったからかもしれない。道の向こうから見ていたことで、期待していたよりも感情が揺さぶられなかったのかもしれない。私も座り込みをしていれば違ったのかなあ……。

座り込みが今の形に落ち着いたのは、16年も戦いが続いてしまったからだった。抗議者のケガ、逮捕などが続き、ただの住民が、長引くこの問題に抗議し続けるための苦肉の策なのだった。辺野古では16年もの間、これが日常なのだ。私の地元、神奈川県座間にも米軍基地があったこと、戦闘機による騒音で授業が中断されていたことを思い出し

た。私はそれに「慣れ」てしまっていたが、その「慣れ」の中にあってさえ、違和感を持ち続け、行動し続けている、その思いの強さに触れたような気がした。

基地って何でしょうか？ ベトナム戦争時には沖縄の基地から爆撃機が飛び、沖縄は「悪魔の島」と恐れられた。イラク戦争では海兵隊が派遣された。基地とは人を殺すため、沢山の兵士と兵器を送り出す場所なのだ。日本が戦争に加担している、ということだ。沖縄には7割の米軍基地。実は終戦5年後は本土に87%、沖縄はたった13%。大きな反対運動によって本土の基地は大幅に減ったが、沖縄の基地は増設され、今では7割を超える。米国の搾取だけでなく、日本本土から押し付けられているのである。抑止論を持ち出し、基地反対は理想論であり、実用的でないという人もいるが、この理想論は実用性があるということとはとくに証明されている。中米コスタリカに学んでほしい。そしてむしろ、基地によって沖縄は様々なことに苦しめられているのだ。騒音問題、お金のバラマキによる住民の分断だけではない。沖縄が日本に復帰してからの約50年の間に、米軍が起こした事件は6052件。凶悪事件は581件。

みんなの記憶にも残っているだろうか。当時20歳の女性への強姦致死、殺人、死体遺棄という事件が起きた。その2016年に、性犯罪で除隊となった沖縄の海兵隊員27人のうち、21人が子どもを標的にしていた。そして被害者の多くが「治外法権」の名の下に泣き寝入りしている。さらに事件化されていない被害の多さ……。私は問いたい。沖縄県民にとっての脅威はどこにあるのか？



REPORT

純生が行く!③ 自由学舎 クラムボン



「純生が行く!」は、余市高校の校長、平野純生が道内の様々なフリースクールへ出向き、今の教育や子どもたちについてお話を伺います。第3回目の今回は「自由学舎クラムボン」さんへオンラインでインタビューしました。



自由学舎クラムボンは十勝管内初の民間フリースクールとして、2000年に創立。当時塾講師として働いていた清野さんは、生徒の中にいた不登校の子どもに対し、「何かできることは無いのか」と学童の日中の空き時間を借りてフリースクールをスタートしました。



現在は小学校～高校、青年まで幅広く受け入れています。クラムボンから余市高校への入学者は過去に5名。兄妹で進学した子どももありました。クラムボンでは、スタッフから高校進学を勧めることはありません。自発的に「高校に行きたい」と言った子どもに対してサポートを行っています。「最近では小学生低学年の問い合わせが多いです。完全不登校状態ではなくても、そのような兆候があると親御さんはフリースクールを探し始めています。時代ですかね。」と清野さん。



週に数回決めて来る子もいれば、毎日通う子、イベントにだけ参加する子もいて利用の仕方は様々。毎週金曜日は行事の日として、みんなで一緒に活動します。季節行事や、料理、ゲームなど、内容は自由です。2月は節分に恵方巻を作ったり、バレンタインにはチョコレートを作ったんだそう。小中高の垣根を取っ払った、異学年交流は創立当時から。子ども達が自然に作っていった関係性です。

「苦労を分かち合って、苦しんで、一緒に戦った子どもが、クラムボンを卒業して、今立派に楽しく過ごせているのが何よりです。それが僕たちのやりがいです。」と清野さん。十勝管内で数少ないフリースクールの一つとして、クラムボンは今日も賑やかに活動しています。

EVENT



演奏する楽しさ 2年続けてやって良かった

神林潮（2年A組）

私は去年と今年の2回、トーンチャイムをやりました。1年生の時、担任の先生から「やらない?」と言われたのがきっかけでした。その時はやる気が全くなかったのですが、適当に頷いていたら本当にやることになりました。それから練習

に呼び出され、「仕方ないからやるかあ」という感じで始まりました。けれど音楽はわりと好きだったので少しは気になっていました。音階も楽譜を見ればすぐわかる感じだったのでそれなりに自信がありました。



自分が演奏できるのは良かったのですが、やはり音を合わせることは難しかったです。でも音を合わせることは音楽にとってとても大事なものだと感じられました。今年はいろいろ行事が重なって練習時間があまりなかったのですが、本番は無事に演奏できたので良かったです。個人の感想ですが、トーンチャイムをやって良かったと思います。演奏をする楽しさもありますが、何より経験できたことにうれしさを持ってました。小さなことですが、私は2年続けてやって良かったと思っています。来年も楽しみにしています。

演奏の動画はこちらから▲



INFORMATION

YouTubeに 「オンライン学校説明会」 動画を公開しています。

YouTubeにて「学校概要説明」と「卒業生や保護者によるトーク」を配信し始めました。卒業生や保護者によるトークタイムは、録画によるYouTube配信を予定しており、随時追加していくつもりです。入学に至った経緯、入学後の生活や変化など赤裸々に語ってもらっています。何か糸口になることを、少しでも見つけられたら幸いです。各地区の教育相談会にお越しいただけない方も、お気軽にご参加ください。



函館・札幌
大阪・横浜
4本のトーク動画を
YouTubeで公開中!



学校概要説明



卒業生トーク



INFORMATION

学校見学を随時受け付けています。

受験を考えるにあたって気になるのが実際の学校生活。生徒がどんな学校生活を送っているかを実際にご覧いただけます。北星余市高校では、日曜・祝日を除く9:00～17:00の間であれば、基本的にいつでも学校を見学いただけます(例外もありますので必ず事前にお電話でご確認ください)。

夏休みなどの長期休暇や土曜日に見学いただいてもよいのですが、見学するなら平日がお勧め。生徒たちの普段の様子が見えるからです。授業の様子、休み時間の過ごし方、寮や下宿での生活など、ありのままの姿をご覧ください。そして、自分がその場にいることをイメージしてみてください。

ほとんどの方が 下宿も見学しています。

「せっかく北海道まで、せっかく余市まで来たのだから……」と、住む場所となる寮や下宿を訪問される方がほとんどです。学校見学終了後に、下宿見学も希望される場合は、その旨お伝えください。所要時間は、移動

も含めて1軒につき約30～60分。多い方で3軒くらい見学されます(たくさん質問される方、じっくりご覧になりたい方はもう少し時間がかかります)。余市町内の地理感覚や車などの交通手段のない方のために、寮・下宿の管理人さんが学校まで迎えに来てくださる場合もあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。

ご希望の方は、事前に入試担当までご連絡ください。

0135-23-2165 (職員室直通)
nyushi@hokusei-y-h.ed.jp

編集後記

「純生が行く!」のコーナー、初めてのオンラインインタビューでした。新型コロナが収まらず、苦肉の策のZOOMインタビュー。私たちデザイナーの仕事は、雰囲気を感じて、目を見てお話しして、直接会って初めてわかることを形にするので、ZOOMではやっぱり限界が…。コロナが収束したら、ぜひクラムボンさんにお邪魔したいです。(石田愛実)

表紙の写真のうらばなし

「ほんまりよーこ〜!」と職員室に入るなり叫ぶ生徒たちに、彼女のような距離感で詰め寄られる本間先生は、毎月誕生月の子たちを集めてお好み焼きの会をしている。わちゃっとしていてもなぜか落ち着く“ほんまりよーこの家”にいる時のみんなは、なんだか学校にいる時とは違うかんじがするから不思議。(辻田美穂子)

